

1. 江戸時代、幕府が年貢を確保するために力を注いだ、新しい土地を開墾して田畑を広げること
をなんとするか。

〔 新田開発 〕

2. 江戸時代に発明された、稲や麦の脱穀に使う農具を何としか。

〔 千歯こき 〕

3. 江戸時代に普及した、田畑を深く耕すことや荒地を開墾することが容易な、刃の先が3～4本
に別れたくわを何としか。

〔 備中くわ 〕

4. 江戸時代中期に普及した、米粒やもみがら、ちりなどを分ける農具を何としか。

〔 唐箕（とうみ） 〕

5. 年貢としてではなく、商品として販売することを目的として生産された作物を何としか。

〔 商品作物 〕

6. 次の工業品を作るために生産された、5の作物を1つずつ答えよ。

染料〔 紅花・藍 〕衣料〔 麻・綿 〕灯火〔 菜種 〕

7. 江戸時代に、特定の藩が財政再建目的で発行し、藩内だけで流通した紙幣を何としか。

〔 藩札 〕

8. 鎌倉時代に生まれた問（問丸）が発達したもので、倉庫業を兼ねながら、地方の物品を仲買や小
売商人に売っていた人のことを何としか。

〔 問屋 〕

9. 江戸時代、商人や手工業者が作った同業者組合を何としか。

〔 株仲間 〕

10. 江戸時代、初版が年貢米や特産品を売るために設けた倉庫兼取引所を何としか。

〔 蔵屋敷 〕

11. 10は大阪や江戸、長崎、大津などに置かれたが、特に大阪は何と呼ばれたか。

〔 天下の台所 〕